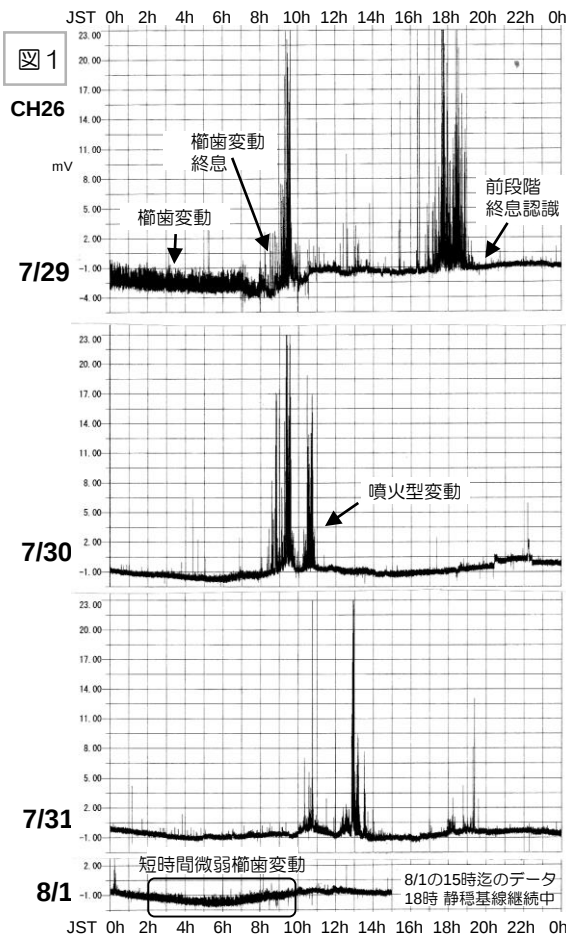


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2 に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

No1778 Stage-37 の変動終息認識後 噴火型変動と短時間櫛歯変動観測 再出現した短時間微弱櫛歯変動の認識の違いで2つの可能性が考えられる



短時間櫛歯が直前変動の場合＝8/4±2 発生
短時間櫛歯が最終変動の場合＝8/7±3 発生

◆前情報で、Stage-37 の変動終息を7/29.6の可能性とし、8/3±2 対応地震発生の可能性と報告しました。7/29.6 静穏化と報告の後、噴火型が出現し、7/29.8 静穏化の可能性と認識が変わりました。（この場合でも8/3±2 発生の可能性変わらず）その後、7/30、7/31両日に短時間の噴火型変動が観測されました。本日 8/1 には現時点まで噴火型変動は観測されておりません。問題は本日 8/1 の朝06時頃を中心に短時間の極めて微弱な櫛歯変動（図1の一番下の基線口で囲んだ部分）が再出現したことです。この短時間微弱櫛歯変動再出現については次の2つの可能性が考えられます。

◆可能性1）短時間櫛歯変動が「直前変動」である可能性

この場合は、極大認識＝7/16.5 直前変動＝8/1.2 Tmap:Tpa=6:1 経験則を使用し、**8/4±2 対応地震発生の可能性**が示唆されます

◆可能性2）短時間櫛歯変動が「最終変動でその後終息」の可能性

図1のとおり、7/31まで毎日短時間噴火型変動が出現し、徐々に噴火型変動値が小さくなり、本日は出現無しで、本朝に短時間の櫛歯変動が出現したことから、本日午前中までが Stage-37 の変動期間Taa 認識で、8/1.5 が Stage-37 の終息である可能性です。この場合は、極大認識＝7/16.5 終息＝8/1.5 Tmap:Tpa=20:13 Tmap:Tpp=6:1 から、Tmap:Tpp=3.9:1 経験則を使用して、**8/7±3 対応地震発生の可能性**が示唆されます。

◆Stage-37 の初現～極大からは 8/4 までの可能性が示唆されるため、可能性1）の8/4±2の方が考えやすいですが、8/6までに対応地震発生が無い場合は、8/7±3の可能性となります。可能性1）の場合は計算上静穏化は7/30.6となり、静穏化認識後の噴火型変動は1日のみとなるため、噴火の可能性は低いことになります。但し、仮に7/30、31の短時間の噴火型が Stage-37 の変動とは関係ない場合は、微弱な噴火活動又は火山活動活発化の可能性が否定できません。可能性2）の場合は今後噴火型が複数日出現した場合は、地震に伴う、又はその後の噴火の可能性は否定困難。

●推定領域：図2の実線領域内＝大枠推定領域

斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域

●推定規模：主震＋余震型の場合＝M8.0±0.3

（M7.7～M8.0の可能性高い）または 複合地震活動

※複合の場合はM7以上地震の断層長LkmがLog L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で、合計で110～150km程度となる複合地震活動の可能性有（例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等）

○地震発生に伴う震源に近い火山での噴火の可能性は若干低い見解

但し微弱な噴火または火山活発化の可能性は否定困難。可能性2）の場合は今後噴火型が観測された場合は、噴火の可能性も有

●推定期間：可能性1）8月4日±2

可能性2）8月7日±3

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震

○推定発生時刻：午前 9時±2時間 or 午後 6時±3時間

（複合地震では当てはまらない場合有）

※18年継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。

※推定に近い地震が発生した場合でも被害の少ないことを祈ります。

C) Copyright 2026 YSBO ハケ岳南麓天文台

No1778前兆変動は2008年7/4初現で、観測歴上経験の無い18年1ヶ月継続となる特殊な長期継続前兆変動です。歪み速度が極めて小さい（遅い）領域の地震の可能性が示唆されます。

図2

